

小5でそば打ち 初段



北川さん(坂井) 県内初

坂井市の丸岡そば振興協議会主催の素人そば打ち段位認定会で、同市長畝小5年の北川舞さん(11)が初段に認定された。同協議会によると、小学生が段位を取得するのは県内で初めて。キャリア3カ月ながら祖母譲りの鮮やかな手さばきで快筆を成し遂げた北川さんは「将来はそば屋さんを開きたい」と夢を膨らませている。(重森昭博)

三段の祖母影響 練習3ヵ月

「将来店開きたい」

認定会で鮮やかな手さばきを見せる北川さん
4日、坂井市丸岡城のまちコミュニケーションセンター

そば打ち 段位



そば打ちの初段に認定された北川さん

段位認定会は4日、同市丸岡城のまちコミュニケーションセンターで開かれ、初段に12人、二段に2人、準三段に3人、三段に2人が挑んだ。同協議会の規定では、初段は、そば粉800gとつなぎ粉200gを40分以内で打ち上げる。きちんと切りそろえられているかや、持ち上げても切れないかなどを5人が審査。250点(5人×50点)中150点以上を獲得すれば初段に認定される。北川さんは「認定会では緊張したが、初段になるのがうれしい。そば打ちの資格をもっと取りたいし、将来はそば屋さんを開くのもいいな」と喜んでいる。同協議会は一丸を披露。見事初段に認定された。特別賞も受賞した。同協議会によると、小学生が初段を獲得するのは、全国でも数少ないという。北川さんは、三段の腕前を持つ祖母の智代美さん(71)の影響で5月からそば打ちを始めた。週2回、自宅や一筆啓上茶屋でそばを打ち、夏休みに入ってから週5回のペースに増やした。智代美さんによると、舞さんは自主性があり、自ら進んで練習するタイプで上達が早いという。北川さんは「認定会では緊張したが、初段になるのがうれしい。そば打ちの資格をもっと取りたいし、将来はそば屋さんを開くのもいいな」と喜んでいる。同協議会は一丸を披露。見事初段に認定された。

児童 災害対応の要探検

金津小12人 マップ作製へ



病室内の酸素吸入器について説明を受ける児童=6日、あわら市北金津の木村病院

地域の防災マップを作ろうと、あわら市金津小児童が6日、校区内の消防団の詰め所や病院、市役所を訪れ、災害発生時の役割を理解し、防災マップの役割を深めた。少年消防クラブの5年生12人が「ぼっさい探検」となり実施した。木村病院では、病院内の設備について、看護部の堀喜代子部長から説明を受けた。同病院には自

岡のそば界を背負うヒロインとして、大切に育てていきたい」と話している。4日の段位認定会で、参加19人中、三段の2人を除く17人が段位認定された。この日は、11月に福井市で開かれる第23回全日本素人そば打ち大会の坂井市丸岡地区予選会も開かれた。19人が出場、坂本進さん(坂井市)五十嵐久隆さん(福井市)北本恭一さん(奈良県)松本文男さん(北海道)の4人が全日本大会の出場権を得た。